

翡翠 ひすい

翡翠の如く4

～嘆くよりも前を向こう～

今年のDORI祭は、昨年度同様コロナ禍しかも緊急事態宣言の中での開催となりました。厳しい制約の中ではあるものの、生徒の皆に楽しんでもらおうと、生徒会や学校祭実行委員会そしてメディア局をはじめ、企画運営に携わった多くの生徒諸君が、知恵やアイデアや技術を出し合いイベントを成功させてくれました。その成功には、部局活動や有志として参加してくれた皆さんや鑑賞してくれた皆さんの力も大きく影響したと思います。

卒業後、皆さんがいずれは関わっていくであろうビジネス社会では、企業の業種・規模にかかわらず、それ相応の制約条件があります。現在のようなコロナ禍では尚更です。そこで他の企業の条件や環境を見て、羨んだり嘆いたりしても意味はありません。大切なことは「与えられた条件の下で最大限の努力をしていく」姿勢です。それは、「いまある条件」と「置かれている環境」を前提として、いかにして最善の結果を導き出すかを考えるということです。今年のDORI祭は、まさにこの姿勢が問われたイベントだったと思います。「出来ない理由を嘆く」のではなく「出来ることをさがす」という前向きな姿勢で皆が取り組んだ結果、大きな成果を得られたのではないのでしょうか。毎回のよう引き合いに出している年次通信のタイトルの「翡翠」。この石は五月の誕生石として有名ですが、「成功と繁栄」をもたらすパワーストーンとしても知られています。皆さんもコロナ禍という先行き不透明な厳しい環境に負けず、成功と繁栄を掴み取るよう最大限の努力をして下さい。

いよいよ後期がスタートしました。早いもので4年次も折り返しです。自らの進路希望の実現ならびに目標の達成のために、現状での最大限の努力をし、最大限の成果を得られることを願っています。嘆くより先に今出来ることをやりましょう！

「美しかった4年次生徒～学校祭」

生徒会のある先生が「4年次すごい！最後まで盛り上げてくれた！」と感謝。最後の学校祭。思えば1年の頃から多く生徒が有志に参加してきた学年だった。今回の学祭でも実行委員になんと14人も立候補。展示には39人(26%)、ステージには22人(30%)の4年次が有志参加。就職や進学とても忙しい中で時間を作って学祭に参加した4年次生徒は熱かった。後輩に形だけではなく学校祭への熱い気持ちを残してくれた。こうして学校が美しくなっていくんだと思った。次はみんなはそれぞれに道に向けて、自分らしさを選択して。。。

◇今後の日程

- 10/6 (水) 後期始業
- 10/7 (木) 授業開始
- 10/9・10 (土日) ベネ記述・全統共テ模試
- 10/16 (土) 学校説明会/電卓検定
- 10/23 (土) 漢字検定 10/30 ベ共テ模試
- 11/21 全統プレ共模試
- 11/23 (火) ~30 (火) 後期中間考査
- ※11/28 (日) ビジ文検定